

2022年10月28日
公立大学法人北九州市立大学
学長選考会議

北九州市立大学 次期学長の選考結果について

現学長が2023年3月31日をもって任期満了となるため、2023年4月1日以降の次期学長の選考について、公立大学法人北九州市立大学学長選考会議において審議してまいりました。

その結果、柳井雅人氏を次期学長として決定いたしましたので、お知らせいたします。

1 次期学長

- 氏名 柳井 雅人（やない まさと）
- 年齢 61歳（2022年10月28日現在）
（生年月日：1961年5月31日）
- 最終学歴 九州大学大学院経済学研究科
博士（経済学）
- 略歴
 - ・1993.04～1994.03 北九州大学経済学部講師
 - ・1994.04～2003.03 同 助教授
 - ・2003.04～ 同 教授
 - ・2004.01～2005.03 同 経済学部経済学科主任（評議員）
 - ・2005.04～2006.03 同 経済学部経済学科長
 - ・2006.04～2008.03 同 学生部長
 - ・2011.04～2013.03 同 入試広報センター長
 - ・2013.04～2015.03 同 経済学部長
 - ・2015.04～2017.03 同 副学長、都市政策研究所長
キャリアセンター長
 - ・2017.04～ 同 理事、副学長、地域戦略研究所長
キャリアセンター長（～2021.03まで）

- ※ 2001年4月に北九州大学は北九州市立大学に名称変更
- ※ 2015年11月に都市政策研究所は地域戦略研究所に改組



2 次期学長の任期

2023年4月1日から2027年3月31日まで（4年）

3 選考経過

(1) 学長候補者推薦の公示期間

2022年9月1日 ～ 2022年9月30日

※ 学長候補者として推薦された者（2名）

(2) 学長選考会議による審議・選考

2022年7月4日 ～ 2022年10月25日（計5回）

4 選考理由

大学を取り巻く環境や社会のニーズが大きく変化する中、北九州市立大学が公立大学としての使命を十分果たしていくためには、学長の力強いリーダーシップの下、教職員が一丸となって、ビジョンやポリシーを共有し、中期目標・中期計画を着実に推進しながら、大学改革を実行していくことが求められます。

このような中、次期学長の選考に当たっては、大学校務の包括的な最終責任者及び副理事長として、中期目標・中期計画の推進・実現に強い意欲を有する人物であること、また、その資質・能力として、「教職員に対する指導力、統合力及び大学経営に関する見識」、「高等教育及び学術に関する見識」、「北九州の地域性及び北九州市施策等に関する知識・理解」を有することが特に重要な要素であるものとし、複数の候補者の所信表明書、推薦理由書、推薦人名簿に加えて選考会議による面接を実施するなど、慎重かつ厳正な審議を行いました。

その結果、次期学長に相応しい人物として、柳井雅人氏を選考いたしました。

選考理由については、以下のとおりです。

柳井雅人氏は、大学運営の根幹となる中期目標・中期計画に関して、第4期中期計画の策定に際し、大学戦略会議において中心的な役割を果たし、中期目標及び中期計画の目的や意義を十分に理解しており、国や市の施策などの外部環境を的確に把握していることに加え、所信表明書等ならびに面接時の資料に基づく説明及び面接時のやり取りを通じ、中期計画を順調に遂行する実行力があると判断しました。

また、これまで経済学部の学科長、学部長等を歴任し、2015年度から副学長、2017年度からは理事も務め、連続8年にわたって大学運営の中心的役割を担った経験や実績から教職員に対する指導力、統合力及び大学運営に関する高い見識を有し、加えて、変革を躊躇しない強い熱意は、今後の大学組織の着実な発展を大きく期待させるものです。

高等教育及び学術に関する見識に関しても、特に Society 5.0 に対応するための情報スキルを持つ高度人材の育成、社会状況を見据え、文理融合による教育・研究の充実など実現意欲の高さや戦略志向が強く示されました。

さらに、設立団体である北九州市をはじめとした各種委員会の委員を務めてきたことから、市の施策への深い理解、そして地域社会や地域産業との連携の実績という点においても、大学の重要な役割の一つである地域の発展への貢献の可能性を拡げるものです。

組織運営については、その所信において「合意形成を重視しながらもリーダーシップを発揮し、強固なガバナンス体制を構築していく」と表明されたほか、大学の継続的発展には、学内における一層の情報開示と合意形成が必要不可欠であること、教職員の一体感を醸成することによって大学運営に尽力することを表明されていることを評価しました。

これらの点から、今後の北九州市立大学を担うリーダーとして、氏を学長に相応しい人物と判断いたしました。今後、学内の様々な異なる意見にもこれまで以上に真摯に耳を傾けつつ、氏がその資質や能力を存分に発揮し、大学のプレゼンス向上に尽力されることを期待します。

学長選考会議は、地方独立行政法人法及び大学定款に基づき、経営審議会委員選出の3名と、教育研究審議会委員選出の3名の合計6名で構成される常設の機関

< 構成員 > 議長：柏原 孝（株式会社内田洋行 特別顧問）

井上 龍子（八幡駅前開発株式会社 代表取締役社長）

中本 成美（北九州市立大学 事務局長）

二宮 正人（北九州市立大学 副学長）

中尾 泰士（北九州市立大学 副学長）

上江洲一也（北九州市立大学 国際環境工学部長）